

東奥日報

2021年(令和3年)12月21日(火曜日) (20)

氷上インカレ 全力で戦う 八工大IH選手 市長表敬



熊谷市長(中央)と記念写真に納まる本間監督と選手

八戸

25〜29日に北海道帯広市で行われる日本学生氷上競技選手権(インカレ)のアイスホッケーに出場する八戸工業大学アイススケート部の本間貴士監督と大坊和希主将、本堂将汰、諏訪龍樹の両副主将が17日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に意気込みを語った。

同部は11月に宮城県で行われた東北地区予選の決勝

で八戸学院大学を5-3で破り優勝。八工大と共に、2年ぶり(昨年は中止)のインカレ出場を決めた。初戦の相手は早稲田大学。

本間監督は「早稲田は非常に強い相手。勝つのは難しいかもしれないが、東北の代表として恥じないプレーをしたい」と語り、八工大一高出身の大坊主将は「早稲田は優勝候補だが、最後まで全力で戦い抜きたい」と決意を述べた。

(三好陽介)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」